

モディ首相 独立記念日演説

首相就任後初の演説の概要と要点

ご参考資料 2014年8月22日

インドでは、8月15日に首都ニューデリーにあるレッド・フォート(赤い城)でモディ首相が全国民へ向けてインド独立記念日*の演説を行いました。本レポートでは1時間にわたる演説の要点を7項目に分けてご紹介いたします。

演説の概要

「私は自分を首相とは思っていない、国民のしもべだと思っている。」一早朝より始まった演説は、自身を筆頭にすべてのインド国民が国益の追求に努力するよう呼びかけるものでした。

グジャラート州の経済成長を成し遂げた指導力と共にクリーンで庶民的なイメージも強いモディ氏の演説は、産業界や富裕層だけでなく地方の農村部や貧困層も強く意識したものでした。

その内容は政治、経済、教育、衛生など多岐にわたり、政治家から農民や若者に至るまで全国民に対してインド再建への道標を示すものとなりました。情熱的で聴衆の心に訴えかける名スピーチであったと各メディアは報じています。

*1947年のイギリスからの独立を記念する祝日。

第18代インド首相 ナarendra・モディ



(写真提供: AFP=時事)

演説の要点

製造業強化	<ul style="list-style-type: none"> 外資の積極的な導入で製造業を強化し、Made in India製品で輸出を強化。 若い労働力を活用し、同時に環境への配慮も怠らない。
貧困層への銀行口座開設支援	<ul style="list-style-type: none"> 全国民の銀行口座開設を促進。 口座開設者にはデビットカードが付与され、その家族には10万ルピーの保険を提供。
デジタル・インド	<ul style="list-style-type: none"> 貧困層にもブロードバンド環境を提供、通信教育や遠隔地医療の充実を図る。 通信環境の整備によりe-governanceの基盤を構築。
地方重視の開発促進	<ul style="list-style-type: none"> 国家発展の為に地方の整備に着手、各議員にモデルケースとなる村の整備を要請。 2019年までに各議員に3つの村の整備を要請。
平和と発展	<ul style="list-style-type: none"> カーストや地域、性別を超えた全国民の融和を目指す。 テロや民族間の争いを超え、武器を捨て平和と発展の道を目指すよう呼びかける。
国家計画委員会の廃止	<ul style="list-style-type: none"> 中央集権型の経済開発を進めてきた国家計画委員会を廃止し、経済の自由化を促進。 直後に、新委員会(National Development and Reforms Commission)の設置を発表。
クリーン・インド	<ul style="list-style-type: none"> マハトマ・ガンジー生誕150周年に向け、10月にクリーン・インド計画を発表予定。 企業に対して、1年以内に各学校にトイレを設置するための支援を要請。

出所: 各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用している数値等は参考データをご提供する目的で作成したものです。これらの内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

140822(02)